

都市計画 (City Planning)					
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
土木建築	必修	4年	2	講義	熊野稔 目山直樹
【授業の概要】 建設技術者として必要な地域計画・都市計画の基本的知識・考え方、方法論、計画論、事例等を学習する。講義理解と演習、通年前期1課題、後期1課題の2課題のレポート作成・提出で構成する。					
【授業の進め方】 毎回、講義や視聴覚教育、演習を行いながら学習を進めることを基本とする。学習シートは、各項目ごとに理解度の確認のために使用する。また、授業アンケートは、前期末試験前と学年末試験前の授業で行う。					
【授業の概要】	【授業項目】		【内容】		
1回	都市計画ガイダンス 地域・都市・都市計画とは何か		地域・都市・農村の考え方・都市計画の考え方・理念の説明・基本用語の説明・講義方針とレポート課題の説明		
2回	都市と都市計画の歴史・その1		古代・中世・近世の都市史・都市計画史について外国史を中心に日本の事例とも比較しながら学習する。		
3回	都市と都市計画の歴史・その2		現代の都市史・都市計画史・都市計画事例について外国史を中心に日本の事例とも比較しながら学習する。		
4回	国土計画・地方計画及び都市の構成、都市と農山漁村		日本の国土・地域・都市計画史、国土計画の目的・内容、国土利用計画法及び土地基本法、都市構成論について学習する。		
5回	都市計画法の体系及び関連法規の体系		都市計画法の目的・構成、内容を学習すると共に、都市計画決定の流れ、関連法規の基礎を学習する。		
6回	土地利用計画 都市計画区域・線引きと地域地区		都市計画法における土地利用規制の内容・開発許可制度・線引き・土地利用計画のあり方について学習する。		
7回	地域都市計画の調査方法論		調査のためのデータや調査方法論・ワークショップ手法等をいくつかの事例を通して学習する。		
8回	中間試験		都市計画の基本を理解し、歴史・都市構成・調査計画方法・都市計画の流れ、都市計画法と土地利用規制などを理解しているかを確認する出題。		
9回	答案返却・解答・解説 中心市街地と商店街計画		中間試験を解説すると共に今までの重要点を確認する。地方都市における中心市街地の位置づけ・動向・改正まちづくり3法の説明・計画のあり方及び計画手法を学習する。		
10回	地域都市計画の計画方法論・都市計画マスタープラン		計画策定のための具体的方法論を都市計画マスタープランなどの事例を通して学習する。		
11回	各種都市施設 物質循環・供給処理施設計画		都市のエネルギーと物質循環・廃棄物処理施設について、その概要と計画のあり方を最新事例を元に学習。		
12回	都市施設 上下水道・中水道・都市河川 地区計画		上下水道などの都市の水系の概要・計画と管理のあり方を事例を通して学習する。		
13回	市街地開発事業 土地区画整理事業		土地区画整理事業の目的・概要・特徴・計画の流れ・換地・減歩方式などを事例を通して学習する。		
14回	市街地再開発事業		市街地再開発事業の目的、区域、手法、計画と管理のあり方を事例を通して学習する。		
	期末試験		中心市街地、商業地、各種都市施設、土地区画整理事業、市街地再開発事業について出題。		
15回	解答返却など		前期末試験の解答・解説と共に今までの重要点を確認する。		
16回	都市交通計画 1		都市交通の種類・交通機関等の概要、起終点調査、交通量調査、交通需要推計の方法論を学習する。		
17回	都市交通計画 2		道路輸送システムの概要、高度道路情報システム、交通需要マネジメント、新交通システムについて学習する。		

18回	公園緑地計画 1	公園・緑地の概要、都市公園法・自然公園法・都市緑地保全法などの基本を学習する。				
19回	公園緑地計画 2	緑の基本計画、公園・スポーツレクリエーション施設計画の手法、考え方を学習し、公園計画設計の簡単な演習を行う。				
20回	住宅地計画 工業地計画	住宅地や住宅団地・ニュータウンの計画と管理のあり方などを事例を通して学習する。工業地や流通業務団地、産業団地などの計画方法論、地域産業活性化論等を事例を通して学習する。				
21回	地区計画制度等・総合設計制度・特定街区・建築協定	地区計画制度その他について学習し、事例を通して知識を深める。				
22回	都市開発計画プロジェクト	国内外の各種都市開発・都市計画プロジェクトを事例を通して検証し、エリアマネジメント等も学習する。				
23回	中間試験	都市交通計画・公園緑地計画・住宅地・工業地計画・地区計画都市計画プロジェクト等について出題。				
24回	答案返却・解答・解説	中間試験を解説すると共に今までの重要点を確認する。				
25回	都市の環境計画	環境基本法・環境基本計画・環境アセスメント法・循環型社会形成推進基本法の基礎を理解すると共に環境計画のあり方について学習する。				
26回	都市の景観計画	景観法・都市景観のあり方・景観計画のたて方・手法論を事例を通して学習する。道路・河川・広場・ポケットパーク等の環境デザイン手法を学習する。簡単な演習も行う。				
27回	都市環境デザイン 1	まちづくりの考え方やデザイン、自然環境や歴史的環境の保全手法などを学習する。簡単な演習も行う。				
28回	都市環境デザイン 2	観光まちづくり論、バリアフリー法などを元に、都市環境や各種施設のユニバーサルデザインのあり方や計画手法を学習する。				
29回	都市防災	都市災害の種類、都市計画における防災手法、防災対策の体制について学習する。				
	期末試験	環境計画、都市景観計画、環境デザイン論、バリアフリー、都市防災、観光まちづくり論について出題。				
30回	解答返却など	後期末試験の解答・解説と共に一年間の今までの重要点を確認する。				
【到達目標】	地域・都市計画の体系を理解し、基本的知識を習得して、研究課題を各自の創意工夫の元に解決しまとめて提出することにより、実務に十分生かせる実力を培うことを目標とする。					
【徳山高専学習・教育目標】	C 1	【J A B E E 基準 1(1)】	d - 2 a			
【評価法】	1) 4回の試験結果を80%、レポート成果を20%で総合評価する。 2) 学年末評価計算式 最終評価点 = (前期中間 + 前記末 + 後期中間 + 後期末) / 4 × 0.8 + レポート2課題の得点					
【テキスト】	石井一郎・他「地域都市計画」鹿島出版会					
【関連科目】	5年 建築法規 3年 建築計画					
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】